

期の目標は、「思いをつなげる」です。

重点となる活動は、ひびきあい集会に向けてクラス活動と合唱祭の取組になるかなと思います。

みなさんは前期の活動や体育祭で、クラスの活動を高めました。この4期で、もう一段クラスの質を高めてほしいと思います。クラスの質を一段上げるために重要になってくるのが、相手ことを思いやりながら、考えながら動く、ということです。

みなさんは前期、係活動などでがんばってきました。うまくいったこともあれば、呼びかけてもなかなかうまくいかなかったこともあるでしょう。その経験をぜひ、後期活かしてください。前期うれしかったことやうまくいったこと経験を後期は仲間にもしてあげてください。このように仲間のことを思いやった動きが大切だと思います。

この思いやりの気持ちを育てるために、みなさんの生活では、3つのことが大切だと考えています。

一つ目は、自分の気持ちを自分以外の人に伝わるよう、きちんと説明する、ということです。自分の気持ちが理解できれば、仲間の気持ちも想像しやすくなるでしょう。

二つ目は、相手の立場に立って、相手がどんな気持ちなのかをよく考える、ということです。相手の立場に立って、相手の気持ちを理解しようとするれば、相手がされてうれしいことも、嫌なこともより分かるようになるというわけです。

三つ目は、相手のことをみる視野を広げる、ということです。あなたが捉えているのは、相手のほんの一面だけかもしれません。決めつけたフィルターで見るのではなく、相手をよく知ることで、より正確に相手の気持ちを理解することもできるようになるというわけです。

4期では、このような力をつけ、クラスの活動を行っていきるとよいと思います。これは、いつも校長先生がおっしゃっている「I c m」の主体性 与えられる存在から、与える存在へ」にもつながることではないでしょうか。

この4期の活動の中で、みなさんはどんな思いやりを仲間につなげることができますか。ぜひ、ひびきあい集会と合唱祭の取組の中で、その姿を発揮してほしいと思っています。